

アジア研修プログラム

KAIL Training Program in Asia

# 2024年度 マレーシア・スタディ・プログラム

参加者募集のご案内

事前研修1日／マレーシア4泊6日／事後研修1日

2024年12月2日(月)／2025年1月13日(月)～1月18日(土)／2月21日(金)

<旅行主催・企画実施>

株式会社西鉄旅行

TEL : 092-525-2211

FAX : 092-525-3937

<研修主催>

特定非営利活動法人九州・アジア経営塾

TEL : 092-726-1861

E-mail : asia@kail.jp

# KAIL

THE KYUSHU-ASIA INSTITUTE OF LEADERSHIP

## 九州・アジア経営塾〔KAIL〕とは

九州から、アジアや世界で活躍できる次世代リーダーを育成するのが、九州・アジア経営塾〔KAIL〕です。KAILではビジネスの現場で活かせる知恵に加え、リーダーに必要な矜持を持って事にあたる「志」教育を行っています。

2004年の建塾から20年の歴史を重ね、多くの卒業生が九州経済の発展のため、また、社会への貢献のため、九州のみならず全国、さらには世界各地で活躍しています。



## アジア研修プログラムの目的

親国家が多い東南アジアの国々では、いかにビジネスリーダーが国の発展のために貢献しているのか。彼らは日本をどう思っているのか。その現場を歩き、日本はアジアの国々を相手にいかにビジネスを行えばよいのかを考えます。多様性が求められる今、アジアの国々はどのように人種や宗教などの違いを認め、ビジネスを成功させているのかも学びます。そして、九州は本当に国際化しているのか。自分や組織のあり方を再考し、将来を担うグローバルな視点を持ったリーダーへのステップアップの機会とします。



## アジア研修プログラムで何を学ぶか

### ■これまでの仕事の振り返りと将来に向けた目標設定

- \* 出発前に所属組織でのこれまでの仕事を振り返り、何が成果で、課題は何かを考えます。
- \* 仕事だけでなく、人生における目標を立てます。
- \* 立てた目標を念頭に置き、現地の人々がビジネスの現場で何を感じてどのように生きているのかを見て、聞いて、観察しながら、自分はどうすべきかを改めて考えます。
- \* 帰国して、研修を振り返り、事前研修で立てた今後の目標を再考します。



### ■フィールドワークはチームビルディングと国際化への一歩

- \* 事前にチーム単位で訪問企業を選定し、現地で1日かけてビジネスリサーチを行います。
- \* 事前準備を通して、企画力・リサーチ力・交渉力を養います。様々な分野で活躍する研修メンバーとの協働を通して、チームビルディングの大切さを学びます。
- \* 将来、アジアでビジネスをするためにも英語は必須です。日系企業だけでなく、英語しか通じない現地企業訪問にもチャレンジしてほしいと期待しています。



### ■講師に積極的に発言し、研修内容を文章にまとめ、表現力と考える力を養う

- \* 研修中は各分野の第一線で活躍するリーダーの講義を聞き、質問をします。
- \* 講義やフィールドワークで何を学んだのか、研修結果を今後の仕事にどう活かすのか、また、自分の組織をよくするために学びをどう活かしていくのかを報告書にまとめます。
- \* 事後研修では、フィールドワークのチーム発表に加え、今後の仕事や人生への決意表明を行います。



## マレーシア・スタディ・プログラムの構成

### ■事前研修（2024年12月2日(月) 会場：電気ビル共創館）

- \* アジア研修プログラムの目的についてしっかり学び、参加者自身の目標設定を行います。
- \* マレーシアの歴史・文化・政治・経済などについて講義を通して学びます。
- \* 現地での登壇講師について説明を受け、事前学習の一助とします。
- \* フィールドワークに向けて準備（チーム編成・テーマ選定・役割分担など）を行います。



### ■マレーシア現地プログラムの概要

- \* 現地政財界要人からリーダーシップなどについて講義を受けます。
- \* 現地の企業・団体を訪問し、ビジネスの現場から学びます。
- \* 九州の現地進出企業や、マレーシアの同世代ビジネスパーソンとの意見交換を行います。
- \* フィールドワークでは、研修生のみチームに分かれ、1日かけてビジネスリサーチを行います。
- \* マレーシアの歴史や文化を学びます。



### ■事後研修（2025年2月21日(金) 会場：電気ビル共創館）

- \* チームごとにフィールドワークの結果報告を行います。
- \* 研修を通して考えた仕事に対する向き合い方、自分のあるべき姿、所属組織や社会への貢献のあり方など、具体的に今後、どう取り組み、実現させていくのか、決意表明を全員の前で行います。
- \* 研修効果を理解いただくため、派遣元企業・団体の人事担当者にご出席をお願いします。



## 加藤暁子・KAIL アドバイザーが監修

東南アジアは親日国が多く、多くの日本企業が進出し、日本政府が最も関係を深めている地域です。とりわけマレーシアは、24年間にわたり首相を務め、親日家として知られるマハティール・モハマド氏がリーダーシップをとった国です。マハティール氏は、1981年に首相に就任して最初に取り入れた政策が「ルック・イースト政策」です。日本人の勤勉な労働慣行から学び、先進国入りを目指すために積極的に日本からの直接投資を行い、日本への留学生を増やす政策でした。これまでに長期・短期合わせた留学生は2万6000人余りにも上ります。

私は毎日新聞香港支局特派員としてアジア全域の経済を担当し、1997年に起こった「アジア通貨・金融危機」で国際通貨基金（IMF）の経済改革を取り入れず、独自の固定相場制を導入して短期間で経済の立て直しを行ったマハティール氏に大変興味を持ちインタビューしました。これをきっかけに、毎月、彼と議論して彼のコラムを1年半執筆して、今に至るまでマハティール氏の英文の本を翻訳してきました。マハティール氏は2003年に首相を辞任した後、15年間にわたり与党政権に汚職がはびこったため、92歳で野党党首として2018年に総選挙で過半数をとり、首相に返り咲き2年間首相として再登板しました。

私は毎日新聞を退社後、2004年から福岡県宗像市で、全国の高校生を選抜し日本や世界のリーダーに育成する2週間のサマースクール「日本の次世代リーダー養成塾」を始め、21年間で3,400人余の卒業生を育てました。塾にはマハティール氏が開塾以来、対面とオンラインで講師を務め、九州アジア経営塾でも毎年、講演をしています。

世界は今、地球温暖化、紛争などに直面し、ビジネスはおろか、生きること自体に危機が迫っています。次に何が起き、今、何をしないといけないのか。先手を打って戦略を打たなければ日本は今の繁栄を維持することは不可能です。それにはASEAN諸国と次世代が共働していくことが急務です。

各界のリーダーが何を考え、日本に何を望んでいるのか。また、進出している日系企業は現地で何に注力しているのか。自分の目で見て、耳で聞いて、九州や日本は何をすべきか。この機会に研修生が真剣に考える機会となればと思っています。マレーシアは、イスラム教徒のマレー人が7割弱、仏教徒の華人が2割、ヒンズー教徒のインド人が0.7%の多民族国家です。多様性が求められる今、国として、また日系企業としていかに多様性を受け入れているのかを学びます。もちろん99歳のマハティール氏にもお話をお伺いします。

私自身、これまで培った人脈と、20年間人財教育に携わったリーダーシップ教育の経験を生かしてたった1週間ですが、必ずや皆さまの大事な社員・職員が次世代リーダーとしての自覚を持ち、活躍できるように誠心誠意取り組んでいきます。

### <略歴>

1982年 4月 (株)毎日新聞社入社、福岡総局を初任地に東京経済部で大蔵省・経済企画庁・東証・自動車を担当。その後外信部記者。  
1996年 4月 同社香港特派員としてアジア全域の経済分野をカバー、その後香港支局長  
2001年 10月 毎日新聞退社後、慶応義塾大学グローバルセキュリティ研究所研究員  
2004年 7月 日本の次世代リーダー養成塾事務局長  
2010年 4月 日本の次世代リーダー養成塾専務理事兼事務局長（現任）  
2011年 4月 NPO法人九州・アジア経営塾アドバイザー（現任）  
2016年 7月 公益財団法人A F S日本協会理事長（現任）  
2023年 6月 株式会社九州リースサービス社外取締役（現任）



## 募集要項

- 対象者：次世代リーダー及びリーダー候補
- 研修期間：2025年1月13日(月)～18日(土) 4泊6日
- 訪問都市：クアラルンプール（マレーシア）
- 募集人員：20名（最少催行人員16名）※定員に達し次第締め切り
- 研修旅行代金：495,000円（各国空港諸税、燃油サーチャージ込）  
※一人部屋ご希望の場合 追加代金 64,000円（4泊分）

- 申込締切日：2024年11月13日(水)
- 利用航空会社：シンガポール航空 エコノミークラス
- 宿泊ホテル：プルマン クアラルンプール シティセンターホテル
- 添乗員：福岡空港から同行します
- 食事条件：朝食4回 昼食3回 夕食4回（機内食除く）
- 研修旅行代金に含まれるもの

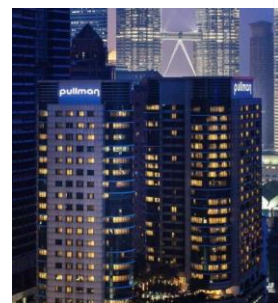
- ・行程中の講義受講、企業訪問にかかる費用
- ・行程中の航空運賃、バス運賃、宿泊料金（2名1室）
- ・行程表に明示した食事、入場料
- ・添乗員、ガイド費用
- ・行程中のサービス料、チップ

- 研修旅行代金に含まれないもの
- ・フィールドワーク中の費用
- ・渡航手続諸費用（旅券取得等）
- ・超過手荷物運搬費用
- ・海外旅行保険代（任意）
- ・一人部屋手配時の追加料金（上記）
- ・お食事の際の飲物代
- ・個人的にご利用の諸費用

※研修旅行ご参加には2025年7月13日まで有効なパスポートが必要で  
※KAILホームページ（アジア研修プログラムページ）よりお申込みください

### 【利用予定ホテル】

プルマン クアラルンプール シティセンターホテル



クアラルンプールのCBD[中央商業地区]、活気ある地区に位置するホテルです。特徴あるビル内に445室の客室をご用意。どのお部屋もTV/高速Wi-Fiを完備し、ビジネス・レジャーに最適です。館内には3つのレストラン、11室のミーティング/コンファレンスルーム、様々なレジャー設備があります。

KAIL



# 今年度スタディツアー行程表

時間帯の目安 午前(8:00~12:00) 午後(12:00~16:00)

目次	月日	訪問地	時間	運送機関	行程	食事
1	1/13 (月祝)	福岡発  シンガポール着 シンガポール発  クアラルンプール着	9:45  15:20 16:40  17:50	シンガポール航空 (SQ655)  シンガポール航空 (SQ122)  専用バス	福岡空港出発  シンガポールにて乗り継ぎ  夕食後、ホテルチェックイン オリエンテーション  <クアラルンプール泊>	朝:各自 昼:機内 夕:レストラン
2	1/14 (火)	クアラルンプール	午前  午後	専用バス  専用バス	JACTIM 澤村会頭講義 マレーシア日本人駐在員との意見交換  JETRO 高野所長講義 ヒロ・フード・パッケージズ・マニュファクチャ リング 鈴木一郎社長講義・会社訪問  現地駐在ビジネスパーソンとの夕食懇談会 <クアラルンプール泊>	朝:ホテル 昼:レストラン 夕:レストラン
3	1/15 (水)	クアラルンプール	午前  午後	専用バス  専用バス	マハティール・モハド元首相講義 マハティール事務所職員との意見交換会 ピンク・モスク見学  マレーシア投資委員会 (MIDA) 幹部講義 国費での日本留学経験者との意見交換会 <クアラルンプール泊>	朝:ホテル 昼:レストラン 夕:レストラン
4	1/16 (木)	クアラルンプール	終日	各自	フィールドワーク  <クアラルンプール泊>	朝:ホテル 昼:各自 夕:各自
5	1/17 (金)	クアラルンプール  クアラルンプール発 シンガポール着	終日  21:45 22:55	専用バス  シンガポール航空 (SQ127)	筑波大学クアラルンプール校訪問 イオンマレーシア見学 ヤスミン・メリカン氏 (ブランド・ステラテジス ト) 講義  夕食後、クアラルンプール国際空港へ移動 <機中泊>	朝:ホテル 昼:レストラン 夕:レストラン
6	1/18 (土)	シンガポール発  福岡着	1:20  8:10	シンガポール航空 (SQ656)	シンガポールにて乗り継ぎ  福岡着	朝:機内

※航空機・天候・現地事情により訪問箇所順序及び発着時間などが変更になる場合がございます。  
※宿泊ホテルのお部屋グレード指定はできません。 ※ビジネスクラスを希望の場合はご相談ください。

《ご案内とご注意》お申込み前に必ずお読みください。<ホテルについて>●2名1室の部屋タイプはベッド2台の「ツインベツルーム」または大型ベッド1台の「ダブルベツルーム」となります。●「ブルマクアラルンプールシティセンターホテル」はバスタブ、シャワー付きのお部屋になります。●お部屋を1人で利用される方は1人部屋追加代金が別途必要です。同行者の取消により1人利用となった場合であっても同様です。●1名1室利用は、ベッド2台のツインベツルームまたはベッド1台のダブルベツルームをご利用いただけます。●すべてのお客様に同じタイプのお部屋を提供できないことがあります。●交通機関・乗継について ●飛行機移動について 日程表内に記載の航空機発着時間および便名は2025年9月25日を基準としています。 運輸機関の遅延、不通、スケジュール変更・経路変更など、また、これらによって生じる滞り時間の短縮及び観光箇所の変更、削除などが生じる場合もあります。このような場合責任は負いかねますが、当初日程に従った旅行サービスが受けられるよう手配努力いたします。●航空機の座席配列や空港での個人チェックインに伴い、グループ、カッパルの方でも隣り合わせにならない場合があります。エコノミークラス席ご利用のお客様は、意図/通路側のご希望は事前に伺いたし兼ねます。●航空会社にお預けになる荷物には、航空会社により重さ・大きさに制限があります。また現地の空港～ホテル間において、別途運搬料を頂く場合があります。渡航先(国または地域)によっては、「外務省危険情報」等、国/地域の渡航に関する情報が出されている場合があります。外務省海外安全ホームページ(<http://www.anzen.mofa.go.jp/>)などでもご確認ください。(海外安全相談センター) TEL: 03-5501-8162 FAX サービス: 0570-023300 渡航先の衛生状況については「厚生労働省海外渡航者のための感染症情報」(<http://www.forth.go.jp/>)でご確認ください。●旅券(パスポート): マレーシア入国時に6ヶ月以上の残存が必要。●査証(ビザ) 当コースでは不要ですが、デジタル入国カードの事前登録が必要。外国籍の方は必ず大使館、領事館へお客様自身でご相談ください。●当社は、旅行申込みの際提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申込みいただいた旅行において運送・宿泊機関・保険会社等(主要な運送・宿泊機関等については当パンフレット記載の日程表及び別途契約書面に記載した日までに送付する確定書面に記載されています。)の提供するサービスの手配およびそれらのサービスの受領のための手続き(以下、「手配等」といいます。)に必要な範囲内、当初の旅行契約上の責任、事故時の費用等を担保する保険の手続き上必要な範囲内で、それら運送・宿泊機関等、保険会社に対し、お客様の氏名、パスポート番号を、あらかじめ電子的方法等で送付することによって提供いたします。お申込みいただく際には、これらの個人データの提供についてお客様に同意いただくものとします。●旅行代金に含まれております「燃油サーチャージ」は予告なく新設・変更・撤廃されることがあります。本パンフレットの掲載ツアーの旅行代金はそれによる変更は致しません。各国、地域毎の法律等によって渡航者個人に対して空港滞留(出入国税、空港施設使用料、旅客保安サービス料)の支払いが義務付けられています。当パンフレット記載の旅行代金に現地空港滞留税及び旅客保安サービス料は含まれております。(2019年1月7日以降に出国する旅行者から徴収されている旅行代金に国際観光旅客税も含まれております)

## 旅行条件(要旨) ■詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、事前にご確認の上、お申込みください。

- この旅行は西鉄旅行株式会社旅行企画・実施する旅行で、ご参加いただくお客様は当社と専業旅行契約(以下、「旅行契約」とい)を締結することになります。ご旅行契約の内容・条件はパンフレットによる他、別途送付する確定書面(最終旅行日程表)及び国土交通省認可の当社旅行約款(旅行約款の部)によります。取引条件説明書面および契約書面の一部(以下旅行条件書)とします。旅行条件書は、旅行開始の期、必ずお受け取り下さい。
- ここに記載のない事項は当社旅行約款(旅行契約の部)によります。
- 旅行契約の成立時点: 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し申込みまたは旅行代金を受領した時に成立します(通信契約の場合を除きます)。
- 旅行代金のお支払い: 1. 旅行代金は、基本旅行代金のほか、パンフレットに表示した一人部屋追加代金、食事追加代金、寄泊の延長追加代金等、当社がパンフレット等で「追加代金」と称するものを含みます。2. 旅行代金は当社が指定する期日までに全額お支払いください。
- 旅行代金に含まれるもの: 旅行日程に明示した航空運賃及び船・鉄道運賃等、旅行日程に明示した運送バスなどの料金、旅行日程に明示した観光等に使用するバス料金、ガイド料金、入場料等。寄泊料金、税、サービス料(二人部屋をお二人様で使用する)、食事料金、交流会費用、税、サービス料、団体行動のチップ、添乗員付コースの添乗員の同行費用、視察訪問先への土産代、なおこれらの諸費用はお客様の都合により一部利用されなくても払い戻しは致しません。
- 旅行代金に含まれないもの: 超過手荷物料金、クリーニング代、電話電報料、ホテルの従業員へのチップ、その他追加料金等個人的性質の諸費用
- 旅行契約の解除: 取付前: お客様は一定の場合を除き、次に定める取付前をお支払いいただくことにより旅行契約を解除できます。

契約解除の日	取付前
(1) 旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降～15日目にあたる日まで	50,000円。
(2) 旅行開始日の前日から起算してさかのぼって14日目にあたる日以降～3日目にあたる日まで	旅行代金の30%。
(3) 旅行開始日の前々日～当日	旅行代金の50%。
(4) 旅行開始日又は無断で不参加	旅行代金の100%。

- 特別補償: 当社はお客様が旅行参加中に、急激かつ偶然な外来の事故により生命、身体または手荷物に被った一定の損害について、当社旅行約款(特別補償規定の部)により一定の保証金及び慰謝金を支払います。
- 旅程保証: 当社は、別途定める契約内容の重要な変更が生じた場合、旅行代金に一定の率を乗じた変更補償金をお支払いいたします。詳しくは別途交付する旅行条件書(全文)でご確認ください。
- その他: 1. 上記の旅行代金は2024年9月25日の運賃・料金を基準としています。2. 旅行の再実施はいたしません。3. 旅行契約の範囲は、パンフレットに明示された発着空港または国際線発着地から出発～帰着の区間に限ります。

旅行企画・実施

「お申込み・お問合せ先」

**西鉄旅行株式会社**  
観光庁長官登録旅行業第579号

**ボンド保証会員**  
(社)日本旅行業協会会員

旅行業公正取引協議会会員

〒810-0014 福岡市中央区平尾 1-3-11  
**TEL 092-525-2211** FAX 092-525-3937  
総合旅行業務取扱管理者 後藤 圭亮  
担当: 松田 聡  
E-mail: [satoshi.matsuda.zp@nnr-g.com](mailto:satoshi.matsuda.zp@nnr-g.com)  
営業時間 平日: 9:30~17:30 土曜、日祭日: 休

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う支店での取引の責任者です。この旅行契約に関して担当者からの説明に不明な点があれば、ご遠慮なく総合旅行業務取扱管理者にご質問下さい。